

プロフィール（自己PR）

中野区に住居を構えて10年に至らない新参者ですが未就学児2名の保護者として地域に関わる中で、中野区の公教育の充実のためにできることがしたいと考え応募しました。

職務経験としては、教育の機会均等を志して文部科学省に入省し、東日本大震災後の対応やSTEM教育・基礎研究振興と研究環境整備に係る事業の政策企画推進等に従事しました。家庭の事情で行政官の職を離れてからも、NPO業界でこどもの育ちや学びの機会を確保することを目的とした仕事に従事して参りました。特に、非営利分野において具体的な事業を作り仕組化していく過程や、政策・事業実施の官民連携について、実践の中で一緒に働く様々なご経験を持つ方から学ばせていただく機会に恵まれました。

職業人として、教育・福祉分野を中心に地域の多様な取り組みを起業される方や学校の先生や福祉の分野の方をはじめ、こどもたちのために現場実践・経営・政策等様々な立場で尽力される方と出会い、それぞれの取組や言語について学びながらお力を借りて、調査分析や取組の企画調整、研修開発実践の任に当たって参りました。

また、公共政策大学院において自治体職員や議員の職にあたる方、他分野のアジア各国の官僚留学生の方とともに、自治体の事業や政策評価について学ぶ機会を得ました。

「こどもたちの最善のために、そこに大人が持続可能に向き合うために、何ができるか？」正解のない問いに向き合い、誠心誠意周りの方の意見を聞いて一緒に暫定解を考えることを続けて参りました。まずは、大人自身がウェルビーイングを大切に、楽しく挑戦することが大切だと感じております。教育長・教育行政にあたる皆様・こどもたちの教えを受けながら、地域・こどもに関わる方々、様々な識見を持つ委員の方とともに、できることを精一杯考えて実行していきたいと思っています。

教育委員になった際に取り組む課題（箇条書き）

※優先度の高いものから順に、3項目以内で記入してください。

1.（課題） こどもの権利を守る学校・地域づくり について

その解決方法（箇条書きで簡潔に）

既に取り組んでいる実践の中で進んだことや難しかったことについて関係者で振り返り・学びを可視化する。こども相談室等学校外に寄せられているこどもの声を委員会で検討し、今後の取組として必要なことについて検討する。例えば、取組み主体の拡大や発展に向けて、ユニセフのCREプロジェクト等を参照し取組の体系化や教職員・社会教育に従事される方向けの研修の中で活用可能な教材等を整備する。

2.（課題） 教育資源の確保 について

その解決方法（箇条書きで簡潔に）

まずは教育委員報酬の一部を原資として、基金をつくる。運営管理・更なる増資の協力者を募り、現状整理や増資に向けた委託費用・職務定義や研修にかかる費用等に充てる。教育委員会事務局の方と相談しながら詳細計画は検討する。そうした基盤を基に、こども達の教育に必要な人的・金銭的リソースを（ボランティアなものを含め）調達する仕組みを検討する。

3.（課題） 教育に求められる機能と役割分担の整理 について

その解決方法（箇条書きで簡潔に）

まずは教育委員に求められることをお伺いし、外部・非常勤の立場からできることや期待しうる役割機能について検討し実行する。その中で上記2点についても再検討する。

学校や社会教育、その他区のこどもや生涯学習に関わる業務の分野に携わる方から、教育委員会や各教育分野に期待することをお伺いし、可視化する。その上で、教育資源の確保の見込み状況を踏まえて、教育委員会で方策を検討する。

教育委員に応募する理由（横書きで記入してください）

- ①ひとりの子どもの親として子どもに充実した学びを得てほしいという願いが根底にあり、
②中野で暮らす中で子どもを支えたいと考える人が沢山いることや人の多様性に可能性を感じ、
③こどもや学びに関わる人の力を結集する仕組みを支えたいと考え、応募させていただきました。

中野は子育てを助けてくれる方や取組も多く、年上の子どもたちが小さい子に優しく接してくれて、感謝を感じています。わが子はもちろん、園や地域で出会うこどもたちがその子らしく素敵な人生を歩んでいくために、地域にある多様な力を活かす教育委員になりたいと思います。官庁や非営利法人での職業経験を通じて、多様な関係者とともに事業を実施する中での実践的な学びの場に携わってきました。その経験を活かし、まずはよく聴くことからはじめ、必要な課題に楽しく挑戦していくために必要な仕組みを関係者の皆様と考えて、実行していきたいと思っています。